



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第124号 2022年9月21日 発行

第30回石川県作業療法学会を終えて

第30回石川県作業療法学会長 西 悦子
(金沢大学附属病院)

7月2日(土)・3日(日)に、金沢歌劇座にて第30回石川県作業療法学会が開催された。県学会は3年ぶりに現地で行われ、参加者は会員129名、学生11名の計140名であった。現地参加は72名、オンデマンド参加は68名と多くの方に参加いただいた。

1日目は、講師の能登先生からQOL評価の歴史、明日から使える評価の内容まで盛りだくさんの内容であった。レジェンドセッションの生田先生は、生涯現役を貫き、体を鍛えている写真には会場からどよめきが起こっていた。進藤先生からは、全国で一番の石川県を目指してのこれまでの歩みを聞かせていただいた。2日目は、辛島先生の講演で環境や連携が重要で広汎性発達障害をそれぞれのライフステージで支え、理解していくことを確認した。一般演題ではフロアからの活発な質問もあり、盛り上がった。休憩時間や先生方の講演後、数人で議論を交わす場面もあった。熱い講演、発表に感動、感動の2日間であった。

優秀演題表彰には、市立輪島病院の大岩瑞枝さん、

城北病院の廣瀬大星さんが選ばれた。大岩さんの発表は、今回の学会テーマにピッタリの発表であり、講師の先生も関心しておられた。廣瀬さんの発表は、心疾患のリハビリテーションの評価が丁寧にできており良い発表であった。3年ぶりにスーツに袖を通したという学術部員もおり、準備も思い出しながらの開催であり、不備があったかもしれない。なによりコロナ禍において現地で開催でき、当院のスタッフ、学術部皆様の支えによるものと感謝している。私自身、作業療法士人生の中で一番の大仕事であった。今後も情熱をもって臨床、教育、研究を極めていきたい。また、来年も皆様にお会いできるのを楽しみにしている。



能登真一氏



辛島千恵子氏



(左から)進藤浩美氏、生田宗博氏



学会運営スタッフ

第30回石川県作業療法学会に参加して

河北中央病院 懸高 佑真

今回、学会発表する機会を頂き、自分の臨床をまとめ、「認知症高齢者に対する家屋調査の有効性～独居生活を継続できた事例～」として発表した。発表のために資料をまとめ、職場の先輩方に指導を受け、なんとか形になり、伝えたいことを発表することができた。発表を通して他者に分かりやすく、見やすく伝えることの難しさや、自分の臨床における反省や気づきに繋がり、とても良い機会になった。

また、初めて演者として参加したことで、他の演題に対しても見る視点が少し変わったと感じる。教育講演や記念セッション、特別講演を通して、自分にはなかったアプローチや考え方、様々な場面での作業療法士の活躍を知ることができた。今後、この学会で得られたことを臨床で生かしていきたいと考える。最後に、今回現地開催にあたって尽力し、学会を開催して下さいました先生方に深く感謝を申し上げる。

学会長奨励賞受賞者から一言

公益社団法人石川勤労者医療協会 金沢城北病院 廣瀬 大星

演題名「冠動脈インターベンション後のせん妄や不安に対し作業活動を導入した一例」

事前の事例検討会で、指導や助言をして下さった職場の方々や金沢東支部の皆様にも多大なる感謝を申し上げます。今回は、価値のある作業を用いた関わりを報告し、患者様の作業の意味や価値、気持ち、

役割を考えることで身体・精神面だけでなく活動面での作業効果の増大を実感できた。今後も、人と作業を常に考え、関わっていきたい。

市立輪島病院 大岩 瑞枝

演題名「小児における奥能登での地域連携～多職種連携体制の構築に向けた取り組み～」

この度の受賞は大変光栄であり、皆様に心より感謝申し上げます。地域のニーズを受け、有志と共に、小児リハビリの拡大や連携に向け日々奮闘し試行錯誤を重ねてきた。学会発表は、これまでを振り返り、

課題を整理する貴重な機会となった。今後も領域に縛られず、作業療法士として何ができるかを考え、一層の自己研鑽に努めたい。



(左から)廣瀬氏、西学会長、大岩氏

石川県訪問リハビリテーション実務者研修会に参加して インクルーシブな在宅支援 ～伝えたい想いに寄り添い・支え・繋ぐ～

市立輪島病院 坂下 宗祥

今回、7/24（日）に石川県訪問リハビリテーション連絡会主催の研修会「インクルーシブな在宅支援 ～伝えたい想いに寄り添い・支え・繋ぐ～」が開催された。PT・OT・STを含めて28名の参加があり、コミュニケーション支援について学ぶ機会を得た。

金沢福祉用具プラザの作業療法士城野友哉氏からはコミュニケーション支援機器について事例を交えて講義があった。機器導入の流れ、残存機能に適した機器を選定するために様々なスイッチ類、コミュ

ニケーション機器があることを学んだ。また芦城クリニックの言語聴覚士の田畑美香氏からは失語症者とのコミュニケーション支援について、講義と個人ワークがあった。失語症患者に対する具体的な伝え方や表出面の支援方法について学んだ。

コミュニケーションは対象者・家族と信頼関係を築く上で必要不可欠であり、コミュニケーションに関する様々な知識・技術を身につける重要性を感じた研修会であった。

2022年度マネジメント研修会の報告

事務局長 麦井 直樹
(金沢大学附属病院)

8月21日(日)午後半日をかけて、3年ぶりに完全対面で企画したマネジメント研修会(旧リーダー研修会)が、金沢大学附属病院CPDセンターで開催された。今回は、日本各地で問題がみられ出した作業療法士の倫理の問題、職場での倫理の問題を当会幹事の進藤浩美氏より、2年前より当会で企画・完成した、職場教育に活用できるように工夫したキャリアラダーについて、理事の桂靖典氏より、作業療法士協会および当会の取り組みと課題について、会長の東川哲

朗氏より講演があった。さらに、職場倫理については、参加者によるグループディスカッションを加えて、問題点や解決法について情報共有した。なかなかオンラインでは深い話になりにくい部分が丁寧に議論できていた。また、休憩時間は3年ぶりに対面となった会員同士の情報交換が熱く行われていた。管理者だけに必要な知識ではないテーマであったが、感染状況もあり、参加者は20名程度と少なかった。



小学生作業療法士のお仕事体験学習会の報告

事業部担当理事 合歡垣紗耶香(芳珠記念病院)

事業部 谷口 洋子(こすもす訪問看護ステーション)

本体験会は、「作業療法士の働き方を伝える」ことを通じたキャリア教育支援事業の一つとして、県内の小学生4・5・6年生と保護者を対象に開催している。昨年度からCOVID-19感染予防のためオンラインでの開催となり、今年度は11名の小学生と保護者にご参加いただいた。

模擬片麻痺患者の更衣動作を評価し、更衣動作指導を模擬患者に実践してもらうという作業療法士体験では、片手がうまく使えない状態ではどのようにしたら上着が着やすくなるかグループワークを行った。子どもたちは話し合いの間も実際に更衣をしながら意見交換を行い、患者の立場になり考える様子

がうかがえた。また、動作方法、道具や作業環境の工夫など、幅広いアイデアが挙がった。子ども達だけでなく保護者も一緒に体験に参加され、楽しみながら作業療法士の仕事を知ってもらえる機会となった。本体験会の参加が作業療法士という進路の選択に繋がれば幸いである。



当会のSDGsへの取り組み～個人・家族・地域・組織で行えることを考えてみよう～

広報部理事 越田 雄(JCHO金沢病院)

2018年度よりSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市が「SDGs未来都市」として選定されているが、全154都市のうち石川県からは7つの市が選ばれていることをご存じだろうか。当会も遅ればせながらSDGsへの取り組みを内外に向けて宣言していく予定である。

先般、全会員へ向けてSDGsに関するアンケートを実施したが、具体的な取り組みのイメージが難しいためか、回答数は一割程度に留まった。

今後、広報活動を強化していくにあたり、まずは会員各自のSDGsに対する理解を深める必要があると思われる。興味のある会員には一緒に学ぶことから始められる環境を整備したい。そして、当会が「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現に貢献できるような組織に成長できるように、一緒に活動できる会員を増やしたい。関心のある方は、以下の問い合わせ先にご連絡いただければ幸いである。

<問い合わせ先>

担当：JCHO金沢病院 越田 雄

E-mail：koshida-yu@kanazawa.jcho.go.jp

電話：076-252-2200 (代表)

さて、当会が組織として取り組めるSDGsを考えて行く上でイメージを共有したい。

当会の目的は、県民の医療、保健及び福祉の発展に寄与するために、会員の学術技能の研さん及び人格資質の向上に努めることである。当会がこの目的を持続的に達成し、長期的に成長していくための取り組みを考えることが肝要である。

当会は様々な公益事業を展開しており、既存事業のブラッシュアップ、あるいは今後必要な事業についての意見を求めたい。先述したSDGs未来都市における取り組みにおいて、当会が担う役割について考えることも重要である。また、研修会や会員向けの情報発信など対内的な活動についても、全ての会員にとってよりよい形を協議していきたい。

当会は職能団体であり、作業療法士一人一人の活動で成り立っている。したがって、会員各自のSDGsへの理解と取り組みが、今後の社会的な役割を果たす上で最も重要である。それが家族、地域へと広がるであろう。

この取り組みが、皆さまの健康で心豊かな社会の持続に役立つことを願う。

第2回 生活行為工夫情報コンテスト開催

福祉機器部理事 越田 雄 (JCHO金沢病院)

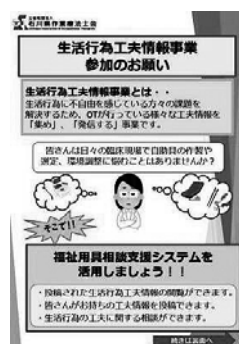
昨年度より、石川県士会は日本OT協会が実施する生活行為工夫事業に参加している。本事業は生活行為の課題解決に向けた工夫情報等を集積、提供することを目的としており、会員に対して福祉用具相談支援システム(以下システム)への利用登録と、生活行為の課題を解決した工夫情報をシステムに投稿するよう呼びかけている。現状、システムで閲覧できる工夫情報は、サンプルを除けば各県士会の投稿に限られている。そのため、システムの実用性を高めていくには、会員各自が積極的に事例を投稿して、閲覧できる工夫情報数を増やすことが必要不可欠である。システムの実用性が高まることで、より多くの対象者に質の高い生活支援を提供できると考えている。

今回、昨年度に引き続き、本事業を推進するために「第2回生活行為工夫情報コンテスト」を開催している。領域や分野、経験年数を問わず、多くの工夫情報の投稿をお願いしたい。特に一定年数の経験を

持つ会員には、後進のOTを育てる意味でも、これまで実践されてきた工夫情報をぜひ投稿して欲しい。まずはシステムに登録し、第1回コンテスト最優秀勝賞の工夫情報をはじめ、県内OTの工夫情報を参照いただきたい。



福祉用具相談支援システム
新規利用登録ページ



地域包括ケアにおける作業療法士に必要な視点 ~情報その2~

地域保健福祉部 宮下 早苗
(小松子ども医療福祉センター)

前号のニュースで案内した通り、今回よりライフステージごとの、社会資源や作業療法士(OT)の活動を紹介していきたい。今回は『幼児期~青年期』を紹介する。

まず『医療』としての関わりは、子どもに出生後何らかの障害や発達の遅れがみられた場合、各医療機関を受診し、作業療法の処方医師より出される。OTは、病院での治療の他、訪問看護に同席し生活の場での治療や助言等を行うこともある。

日中活動の場としては、障害児通所支援があり、『児童発達支援』『医療型児童発達支援』『放課後等デイサービス』『保育所等訪問支援』で作業療法を実施している。前者3つは、対象児の障害の特性により地域の保育園や学童などの利用が難しい児が利用する施

設である。OTは、現場で働く保育士や支援員、看護師など多職種から相談を受けアドバイスをを行ったり、医療機関との連携を図ったりする。また、対象児のニーズや目標に応じた療育プログラム、レクリエーション等の考案・作成、保護者からの相談業務なども行なう。「保育所等訪問支援」では、OTは訪問支援員として保育園や学校、学童など対象児が普段通っている施設に訪問し、本人や支援者(保育士、教師等)からの相談を受け、本人や環境の評価、助言等を行い、集団生活への適応をサポートしている。

『医療』以外はOTが必須の事業ではないが、障害特性を把握し、対象児に応じた発達の促しや環境調整を行うOTが地域で求められている。

令和4年度 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会 (石川県講習会)開催について

石川県作業療法教育協議会 種本 美雪
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

1. 本講習会について

- 今年度は11月19日(土)・20(日)にてR4年度 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会(石川県講習会)をオンラインにて開催する。今回の締め切りは終了しているものの、現時点で200名弱の方が未受講であることから、次回以降、多くの方に受講頂きたい。

2. 受講者数の状況(R3.3月末時点)について

- 石川県は本講習会受講済みの方は475名となり、日本作業療法士協会が示す目標値の1.57倍の受講率であり、全国2位の受講率である。

- 受講者内訳では医療機関の方が多く傾向があり、年代別では中堅層からベテラン層の未受講の方が多い傾向がある。一方、来年度から4年生養成校の臨床実習が開始され、更に指導者が必要となる。未受講の方は是非、本講習を受講頂きたい。

3. 臨床実習指導に関する研修会開催について

- 学生の臨床実習指導は変化しており、学生教育に必要な指導方法を常に学んでいく必要がある。今年度も学生への指導技術を研鑽するため研修会を企画している。是非、多くの指導者に受講頂きたい(詳細は内容が決まり次第、案内する)。

今年も開催します！

リハビリテーション・スポーツフェス2022について

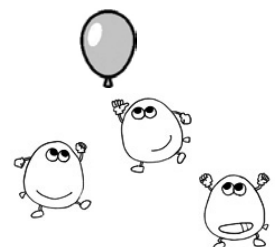
企画部担当理事 種本 美雪
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)



今年度も本会の大イベントである「風船バレーボール大会」は、COVID-19感染拡大に伴い中止の運びとなったものの、障害を持たれた方に「活動できる場」「参加できる場」として、多くの方が活躍できる場を提供していきたいと考えている。

そこで今年度も「家族と仲間とスポーツを楽しむ」をテーマに、オンライン型エントリーの「リハビリテーション・スポーツフェス2022」を企画している。種目は「風船リフティング」「フライングディスク」「ピンポンカップイン」「紙コップタワー」の全4種目を予定しているが、広い年齢層や多くの方に参加頂けるよう、ルールのバージョンアップを予定している。大会要項など10月の配信予定で、競技エントリー期間は11月中旬頃から12月末で企画している。(詳細は県士会発行物・県士会HPを確認頂きたい)

感染対策上、団体競技はできず個人戦となるが、施設でも自宅でも家族や仲間たちで各競技に参加頂き、タイムや飛距離、回数を競い合いながら是非、みなさんで盛り上がり頂きたい。



能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

8月26日(金)に第2回MTDLP事例検討会が開催された。23名の参加と1事例の発表が行われ、金沢や加賀の方々にも参加頂いた。移動の獲得に伴い自宅での入浴、地域活動へと生活の幅を広げていく過程について、強みを生かしたアプローチと地域資源の可能

性について活発にディスカッションされ、参加者一同が充実した時間を過ごした。10月に事例検討会を予定しておりこちらも期待して頂きたい。能登支部は多くの皆様の参加をお待ちしている。

加賀支部

松寿園 川端 良明

8月の事例検討会は、ハイブリット開催として準備を進めていたが、感染拡大によりWeb開催への変更を余儀なくされた。当日は34名がWebで参加し、動作指導の定着を目指した工夫、自宅環境を想定した動作練習と他サービスとの連携、若い頃の興味・趣

味をきっかけとしたADL練習の介入の3事例について、参加者同士で幅広い意見交換を行った。今後、加賀支部では11月27日(日)にコミュニケーションをテーマとした研修会を予定している。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

第2回金沢西支部MTDLP事例検討会を10月26日(水) 19:00～21:00にオンラインで開催する。今回から事例報告のシートが簡略化され、より報告しやすくなるのではないかとと思われるので、報告を迷われている方は、ぜひこの機会を利用していただきたい。

また、事例検討会では、事例報告に加えて、臨床疑問に応じたテーマに基づき、各所属で行っている治療等について情報共有を行っている。聴くだけでもよいので気軽に参加いただければと思う。

金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

6月17日(金)に第1回事例検討会を開催し、県学会の学会練習が2件あった。どちらもすでに洗練されていたが、様々な意見やアドバイスがあった。県学会に限らず他の学会の練習目的でもこの会を積極的に利用していただきたい。ミニレクチャーは「がんと

脳梗塞」について、急性期から生活期まで様々な方と意見交換することができた。また、9月24日(土)には金沢市健康づくりフェアが予定されており、スタッフとして部員が参加予定である。

◆◆◆令和4年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第9回総会 議事録◆◆◆

- 日時：令和4年5月21日(土) 15時25分～16時10分
場所：KKRホテル金沢3階鳳凰の間 および Zoom使用によるWeb会議
- 出席理事：東川、寺田、安本、麦井、桂、種本、酒野、越田、東、米田、中森、永井、合歓垣、柿島、坂下、村井(以上Zoom出席) 出席監事：後出氏、進藤氏 欠席理事：加藤、高橋
議長：堀江(金沢大学附属病院) 書記：小松(金沢大学附属病院) 議事録署名人：橘裕子氏(石川県リハビリテーションセンター)、三野彩愛氏(金沢脳神経外科病院)を任命
- 議事 議決権のある会員の数：836名 出席者数：528名(うち委任状320名、書面議決書提出者数189)
【審議事項】①令和3年度事業報告と収支決算について会長と安本副会長より報告があった。承認
②令和4年度事業計画と予算について会長と安本副会長より説明があった。承認
③会長より日本作業療法士協会との個人情報に関する覚書の締結について、3役で締結を承認した旨の報告があった。

◆◆◆令和4年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事会 議事録◆◆◆

- 日時：令和4年5月21日(土) 16時15分～16時20分
場所：第9回総会と同場所
- 出席：東川、寺田、安本、麦井、種本、桂、酒野、越田、東、米田、中森、永井、合歓垣、坂下、柿島、後出、進藤 堀江、長原、(理事15名、監事2名、支部長2名) 書記：山本、山下
欠席：村井、加藤、高橋、西村、小川
- 議事【審議事項】
①令和4年度新入会会員39名について東川会長より報告があった。承認

◆◆◆令和4年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事連絡会 議事録◆◆◆

- 日時・場所：令和4年7月13日(金) 19時～20時30分 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
- 出席：東川、寺田、麦井、東、合歓垣(以上会場)、安本、米田、中森、永井、酒野、越田、坂下、加藤、柿島、種本、村井、桂(理事17名) 堀江、長原、西村、小川(支部長4名) (以上Zoom) 書記：山本(Zoom)、
- 議事
【審議事項】《學術部》第31回県学会の日程について6月24日(土)、25日(日)で検討していく。承認
《精神医療部》現職者選択研修(精神障害)の開催予定は12月4日(日)を進める。承認
《在宅支援部 訪問領域》石川県訪問リハビリテーション実務者研修会を12月10日(土)に開催する。承認
《金沢西支部》金沢市脳活プログラム等市町事業への協力者を増やすための取組みについて事業実施日に見学する会員への手当および事業協力者の会議費を予算を計上する。承認
《事業部》プロジェクトの講演申請について金沢市に限らず、県内各地で実施していく。承認
《企画部》今年度の風船バレーボール大会の開催方法について、スタッフ自体も行動制限がかかる可能性あり。昨年と同様、スポーツフェスに代替で行う。承認
《執行部》マネジメント研修会(8月21日開催予定)は倫理に関しては、進藤監事に依頼済、教育のリーダーの説明を桂理事に依頼、またその司会を教育部理事に依頼したい。承認

インフォメーション 研修会案内・県士会活動

9月28日(水) 金沢東支部
第2回MTDLP事例検討会

10月5日(水) 加賀支部
第2回MTDLP事例検討会

10月7日(金) 能登支部
第2回症例検討会

10月21日(金) 自動車運転と作業療法
検討委員会 第1回勉強会

10月23日(日) 教育部
現職者共通研修

10月26日(水) 金沢西支部
第2回MTDLP事例検討会

10月28日(金) 金沢東支部
第2回症例検討会

11月18日(金) 能登支部
第3回MTDLP事例検討会

11月19日(土)・20日(日)
令和4年度石川県理学療法・作業療法臨床実習
指導者講習会

11月20日(日) 事業部
第12回作業療法体験セミナー

11月23日(水・祝) 教育部
現職者共通研修

12月4日(日) 精神医療部
現職者選択研修(精神障害領域)

12月7日(水) 金沢西支部
第3回症例検討会

スマホアプリで
オフライン再生
も対応!

リハ・ケア・看護
院内・施設内の
研修実施・管理をトータルで!

はぐくも

はぐくもとは
研修業務を自動化するシステムです。研修管理ツールに加え、
リハ ケア 看護 の3つの専門チャンネルをすべて視聴できます。

かんたん選択 「カリキュラム」と「対象スタッフ」を選ぶかんたん2ステップ

3つの専門チャンネルの視聴 リハ・ケア・看護向けの専門チャンネルがどこでも視聴可能

研修管理の自動化 受講記録作成、視聴リマインドなどをすべて自動化



はぐくも



リハ専門
リハメ



ケア専門
ケアメ



看護専門
ナースメ

全チャンネルで新コンテンツを毎週追加!

**こんなお悩みをもつ
管理者様に!**

- ✓ スタッフがオンライン研修を見てくれない
- ✓ スタッフによって学んでほしいことが違う
- ✓ 3職種のリハ準備は手間もコストもかかる
- ✓ 業務と研修準備の両立が大変
- ✓ 研修の内容を決められない
- ✓ スタッフ全員の方向性を統一したい

01 かんたん2ステップで、あとはすべて自動!

カリキュラムと対象スタッフを選ぶだけの最短2ステップで研修計画の作成が完了。職種やキャリア別におすすカリキュラムがあるため研修選びに迷うことがありません。

02 リハ・ケア・看護の専門チャンネルが見放題

リハ専門の「リハメ」、ケア専門の「ケアメ」、看護専門の「ナースメ」が見放題。毎月60本以上の動画がアップされます。

**03 研修計画・実施・管理が、
どンドンラクに**

視聴締切やレポート提出などのリマインドは全ておまかせ。受講完了したスタッフの人数や研修レポート提出状況などが一目でわかり、カリキュラムごとにレポートを出力できるので研修実施記録としても活用できます。

料金体系

基本料金

- 初期設定費用 55,800円(税込)

今だけ 0円!

6名様 15,400円/月(税込)
よりご利用いただけます(1名様8800円/月税込)

- 追加視聴アカウント 1名様 880円/月(税込)
- 追加管理アカウント (複数も可) 1名様 5,500円/月(税込)
- ライトアカウント (オリジナル動画に
限定してご利用可) 1名様 330円/月(税込)

自信があるから! 全額返金保証


返金対象には一定の条件があります。詳しくはお問い合わせください。

※「はぐくも」は1年契約となります

株式会社 **gene** hugkumo@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 はぐくも 検索

詳しくは
こちら





**「超高齢社会」、
そして「アフター・コロナ」に向けて。
現場の悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。**


金城大学 大学院で学んでみませんか?

- 総合リハビリテーション学研究科
- 総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

遠隔オンライン
学習対応

安心設定の
学納金


就業しながら学べる
昼夜開講制



2021年度
「作業療法士」91.3% (2021年度卒業生実績)
国家試験合格率 (全国平均88.7%)

金城大学

詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。



全国に広がる有料老人ホーム

パーキンソン病専門 PDハウス



施設 ビジョン

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気ででもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの想いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

働き方改革

2023年に向けた **目標**

公休数
120日

残業
0時間

有給取得
100%

PDハウス野芥 笠松 朋枝

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けられてもらうことが多いのですが、これからも私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

1 出店計画

- 関東エリア
 - PDハウス相模大野... 2021.01
 - 東京1号店... 2021.夏
 - 神奈川2号店... 2021.秋
- 関西エリア
 - PDハウス有田... 2020.06
 - PDハウス岸部... 2021.06
 - PDハウス今宿... 2021.05
 - 大阪2号店... 2021.秋



働き方
公開中!

介護サービス
サンウェルズ

0120-905-166



賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人董仙会
学校法人金城学園
株式会社gene

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団千木福久会
社会福祉法人寿福祉会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団竜山会金沢古府記念病院
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団光仁会
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社
株式会社ヤマシタ
セントラルメディカル株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ

D会員

あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードからWeb会員登録フォームにアクセスして登録してください。登録いただいた

メールアドレスに研修会案内や県士会からの連絡などをML配信します。



県士会Web QRコード▶



会員数

会員数 871名(8月現在) 認定作業療法士数 32名(8月現在) 専門作業療法士数 4名(8月現在)

編集後記

COVID-19感染拡大が第7波となり、振り返ると、2020年1月から国内で流行し始め、約2年半経過するもまだ終息の兆しが見えない。同時に、マスク着用でのコミュニケーションにおいて、表情が認識しづらく感情を読み取れないことがある。ある研究では、「悲しみ」と「軽蔑」の表情は、マスク無しのほうが分かりやすく、「幸福」「驚き」「恐れ」「怒り」「嫌悪」は、マスクを着用していても読み取れるとの結果が出ている。『目は口ほどに物を言う』ということわざがある。何も言わなくても、目つきから気持ちや感情が伝わるという意味である。リハビリテーションを進めるにあたり、マスク着用の対象者の目元から、感情を読み取る技術も必要になるかもしれない。そして、すでに約2年半のマスク有りでの日々の経験から、感情の読み取り技術が鍛えられているかもしれない。『災い転じて福となす』。1年後、『Afterコロナ』となっていることを願う。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、米田貢、越田雄、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、亀井友稀乃、竹中朋也、白山武志、藤田朱音、村井俊太、福岡翔平、長谷梨紗、仲佐東、宮腰真、上野玲子、川上直子、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社